

「ことばと国際理解教育」公開研究会

日本国際理解教育学会の課題研究「ことばと国際理解教育」は、多言語が交錯し合う今日的状況の中で、従来のことば観を捉えなおし、「ことばと国際理解教育」の関連の多様性や多様な実践の可能性を明らかにすることを基本的なねらいとしています。

今回プロジェクトチームでは、去る6月に開催された研究大会での報告を踏まえつつ、より実践的に「ことばと国際理解教育」の関連を考えていくことを目的に、以下の通り2回の公開研究会を企画しました。振るってのご参加、お願いいたします。

公開研究会 1

「児童に身近な外国語への気付き ―国際理解教育と言語意識教育―」

日時：10月17日(土)14:00～17:00 (13:30 開場) *事前申し込み制/無料

会場：東京国際大学早稲田キャンパス 5階 マルチホール

日本の公立学校に在籍する「日本語指導が必要な児童生徒」数の増加からも推測されるように、近年日本の学校教育現場の多言語化・多文化化が着実に進んでいます。

今回の研究会では、招待講師の福田浩子氏によるイギリスの言語意識教育に関する議論を足がかりに、ヨーロッパにおける少数言語教育政策や日本の小学校教育現場での英語活動、多言語活動の実践も踏まえながら、小学校児童の身近にある多様な外国語の問題を国際理解教育の視点から考えてみたいと思います。

- ◆講演：「言語意識教育とは何か―言語教育と国際理解教育の接点―」 福田浩子（茨城大学）
- ◆報告：「ヨーロッパにおける少数言語教育政策」丸山英樹（国立教育政策研究所）
- ◆報告：「国際理解教育と外国語活動―英語活動の限界と多言語活動の可能性」吉村雅仁（奈良教育大学）
- ◆司会：山西優二（早稲田大学）

公開研究会 2

「日本語教育の視点から国際理解教育を考える」

日時：11月21日(土) 14:00～17:00 (13:30 開場) *事前申し込み制/無料

会場：東京国際大学早稲田キャンパス 2階 207室

現在、日本国内の定住外国人が増加し、地域、学校現場とともに多言語・多文化化が進展しており、さまざまな場面での異文化を背景に持つ他者とのコミュニケーションの機会が増えつつあります。そのような社会変化の中、文化庁も「生活者としての外国人の日本語教育事業」を進めようとしています。

今回の研究会では、招待講師の細川英雄氏による、日本語教育や言語教育、さらには人間のための教育が目指すべき方向性についての議論をもとに、日本語教育における教室内外での実践例も踏まえながら、新たな視点から国際理解教育を捉え、今後の方向性を考えたいと思います。

- ◆講演：「国際理解教育とは何か―日本語教育の異端的立場から」細川英雄（早稲田大学）
- ◆報告：「他者を理解するためのことばの力とは―協働学習を通じた日本語教育の目指すもの」岡本能里子（東京国際大学）
- ◆報告：「国際理解教育の課題―地域日本語活動の現場から見えてくるもの」服部圭子（近畿大学）
- ◆司会：山西優二（早稲田大学）

*事前申し込み：メールにて、forum09@list.waseda.jp まで「ご氏名・ご所属・ご連絡先(e-mail)」を各公開研究会の3日前(10月14日/11月18日)までに、お知らせください。

主催：日本国際理解教育学会 連絡先：「ことばと国際理解教育」プロジェクトチーム forum09@list.waseda.jp

会場のご案内：【東京国際大学 早稲田キャンパス】〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-6-1 /Tel.03(3205)7727 (代)
東京メトロ東西線「早稲田駅」徒歩約5分/東京メトロ副都心線「西早稲田駅」徒歩約7分